

現實界にありては未だ

アモリヨーズやアマンを持たせ給はざりき

凡ての人事にトランセンデンタルな

大人格者にてありき

君か純潔なる靈身は

最奥第一の靈國と天國の善徳に和合し相應す

神を愛し神を理解し神に忠誠なりし君は

その善行必ずや天國に於いて克く美果を結び

イターナルのエンゼルとして

三五の教を守らせ給ふべきを信す

嗚呼君は現實世界にありても

神のため道のために

最も尊貴すべき神人なりき

神界に於ける君は

愛善の意志と信眞の智性を發揮し

天女を娶りて圓滿なるホームを造り

且つ善のために活動し玉ふ英姿は

吾眼前正に髣髴として現はれ來りぬ

戀しき君愛する君に對して

別離の悲しみ止め難く

吾が眞情を吐露して

君が神慮に告げまつる

ア、惟神 靈幸倍坐世。

西村徳次兄の歸幽に就て

瑞

月

ア、君よ

君は現實世界の煩を脱して

神靈界の人となり玉ひぬ

されど君が精靈は

必ずや天國にあつて

地の高天原に遊び

これの教を守らせ玉ふべし

君は熱誠の人にして

又愛信の深き人なりき

ビユリタンの模範として

推賞措く能はざるの人格者

ア、されど現世にては再び君が清姿を見るべからざるを惜む

願はくは君が精霊よ

自然界暗黒海の潮流に

棹をかざして進まんとする

吾が教船を守りて完全なる

彼岸に到達せしめよ

ア、惟神 靈幸倍坐世。

瑞 月

得意なる地位に坐しなば其の上の

榮譽望ます沈勇たる可し

吾地位を望める人に與ふるは

必ず後に取る爲となる

吾年を指折り數へ老い行くこ

悔む心は既に死したり

人の世に用し無ければ生命の

無きと等しく寂しきものなる

覇者は皆天下に無理を爲すものこ

覺れば斯の世に争ひも無し

||如意寶珠〔午之卷〕—終||

大正十二年二月廿五日 印刷  
大正十二年二月廿八日 發行  
昭和四年六月十日 再版

不許  
複製

如意寶珠〔午の卷〕奥附

定價金 壹圓

京都府何鹿郡綾部町字上池田二七番地

編輯者 櫻井重雄

京都府何鹿郡綾部町大字神宮寺一番地ノ一

發行者 近藤貞二

京都府何鹿郡綾部町字本宮東四ツ辻十三番地

發印刷所 天聲社

〔振替大阪六〇五三四番〕

終